

平成 21 年 7 月 9 日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2006 ～ 2009
 課題番号：18592436
 研究課題名（和文） 地域の健康課題解決に結びつく行政保健師と大学が協働する
 教育研究活動のあり方・方法
 研究課題名（英文） Solution Strategies of Collaboration between Nursing faculties and
 Public Health Nurses to Address Community Health Problems.
 研究代表者
 坪内 美奈（TSUBOUCHI MINA）
 岐阜県立看護大学・看護学部・准教授
 研究者番号：70326114

研究分野：医師薬学
 科研費の分科・細目：看護学，地域・老年看護学
 キーワード：地域看護学，大学教員，行政保健師，協働

1. 研究計画の概要

1) 大学教員と行政保健師との協働した教育研究活動実践が、どのような重なりによって展開され、どのように地域の健康課題解決に結びついているのか、そのプロセスを明らかにする。

2) 1)により解決に結びついた地域の健康課題とはどういうものか、研究開始の時点から、何が、どのように、どの程度課題解決が促進されたのか、その内容を明らかにする。

3) 1)において行政保健師と大学教員が果たしていた役割と協働の方法を明らかにする。

4) 1)2)3)を通して、地域の健康課題解決に結びつく教育研究活動のあり方・方法を検討する。

2. 研究の進捗状況

1) 大学教員が行政保健師と協働した教育研究活動の事例調査（2事例）の実施。町保健師の実践上の課題と連動させて、学生実習（単独訪問実習、卒業研究実習）と、保健師と教員による共同研究を行い、どのように教育研究活動を重ねて展開しているかそのプロセスと、学生の学びや学習環境への影響を調べ、研究成果の一部を学会で報告した。（研究成果の項を参照）

2) 共同研究に取り組む行政保健師と大学教員の協働実践についての断面調査の実施。2004年～2006年の日本地域看護学会の学術集会誌（3冊）と日本地域看護学会誌（6

冊）の中から、看護系大学教員と行政保健師が共同で報告している地域看護研究の55課題を選び、研究メンバーである大学教員と保健師の各筆頭者に郵送調査を実施した。看護系大学教員が行政保健師と行なう共同研究による協働の進め方とその意味について、また、行政保健師の求めるものに応じた共同研究に向けた看護系大学教員の協働のあり方と方法について分析し、研究成果を報告した。（研究成果の項を参照）

3) 2)の調査回答の中で承諾の得られた対象者に対し、教員と保健師をペアにした聞き取り調査を6事例行った（2007～2009）。研究を通して教員と保健師とが協働する方法について、分析中である。

4) 行政保健師による地域の健康課題の解決を図る方法についての文献検討の実施。保健師が取り組んだ地域の課題とその理由となる保健師の判断を読み取り記述し、保健師が目指したこと、活動の成果、課題に対する実践方法について内容分析を行なった。研究成果は学会誌へ投稿中である。

3. 現在までの達成度

計画通りに達成している。
 （理由）計画通りに、事例調査、郵送調査と聞き取り調査、文献検討を実施することにより、地域の健康課題に結びつく実践方法および教育研究活動のプロセス、教育環境へ

の影響、看護系大学教員の協働のあり方と方法について、データ収集し、検討している。

4. 今後の研究の推進方策

1) 事例調査について、最終年度であるため、特に、解決に向けて取り組んだ地域の健康課題について、何がどの程度解決に向かったかその内容を明らかにする。

2) 共同研究を実施した行政保健師と教員との協働活動事例の聞き取り調査の分析結果を報告する。

3) 国内外の看護系大学における実践・教育・研究の連携に関する文献を調査する。

4) 全ての調査結果を基に、地域の健康課題解決に結びつく教育・研究活動のあり方・方法について検討し、総括する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 2 件)

坪内美奈、大川眞智子、岩村龍子、看護系大学教員が行政保健師と行なう共同研究による協働の進め方とその意味、岐阜県立看護大学紀要、第8巻1号、25-32、2007、査読有り

坪内美奈、岩村龍子、大川眞智子、行政保健師の求めるものに応じた共同研究に向けた看護系大学教員の協働のあり方と方法、岐阜県立看護大学紀要、第8巻2号、29-37、2008、査読有り

[学会発表](計 5 件)

坪内美奈、戸之洞愛、米増直美、松下光子、行政保健師と大学教員の協働活動による地域の健康課題解決明確化の現状と協働の方向性、日本地域看護学会第10回学術集会講演集 98、2007.

坪内美奈、今井田路代、杉原愛、保健師と協働して行なう教育・研究活動開始時における協働関係について、第66回日本公衆衛生学会総会抄録集、Vol.54No.10、382、2007.

Mina Tsubouchi, Michiyo Imaida,

Ai Sugihara, Collaboration to improve public health nursing practice for the rearing of multiple-birth children, The 1st KOREA-JAPAN Joint Conference on Community Health Nursing, 2007.

坪内美奈、岩村龍子、大川眞智子、松下光子、米増直美、北山三津子、実践上の課題解決方法検討と連動させて実施した実習による学生の学びと実習方法の検討、日本地域看護学会第11回学術集会講演集、150、2008.

坪内美奈、米増直美、松下光子、森仁実、大川眞智子、岩村龍子、北山三津子、保健師の実践上の課題と連動させた実習が学生の学びと実習環境に及ぼす影響、第67回日本公衆衛生学会総会抄録集、Vol.55、No.10、386、2008.

[図書](計 0 件)

[産業財産権]
出願状況(計 0 件)

取得状況(計 0 件)

[その他]

なし